



創刊25周年記念企画

「企業のIT活用度調査」

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は日経BP社、日経コンピュータの報道活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

日経コンピュータは本年、創刊25周年を迎えるのを記念し、東証上場企業、ジャスダック株式公開企業ならびに有力非上場企業を対象に「企業のIT活用度調査」と題した調査を実施いたします。皆さまのシステム部門の組織運営、IT関連投資、システムの機能などの実態をうかがい、IT利活用の状況を企業ごとに分析させていただきたく、ご協力をお願いする次第です。

見本

集計・分析結果は今秋をめどに日経コンピュータに掲載する予定です。調査では各設問から企業のIT活用度を算出し、利活用が優れている企業の格付け・ランキングを発表する予定です。

データの管理には万全を期し、データはランキング企画のみに使用し、ご記入いただいた数字を承諾なしに誌面に掲載することはありません。皆様の企業が産業界全体でどのような位置づけになるのか、ご確認されるためにも、企画の趣旨にご賛同賜りたく存じます。

なお調査の実施に関しましては、日本経済新聞社の総合調査機関である日経リサーチが担当いたします。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

2006年5月

日経BP社 日経コンピュータ編集長 田口 潤

【ご記入にあたって】

- ◆ 調査票はできましたら情報システム部門の責任者の方もしくはそれに準ずる方にご記入をお願いいたします。
- ◆ ご記入の際は、同封の記入要領をご覧ください。
- ◆ ご記入いただきました調査票は **6月2日(金)**までに、同封の返信用封筒、またはファクスにてご返送下さいますようお願いいたします。
- ◆ ご不明な点などは下記にお問い合わせ下さい。



日経リサーチは'99年8月に財団法人日本情報処理開発協会より、個人情報に適切な取り扱いを行う企業に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

— 日本経済新聞社の総合調査会社 —

株式会社 **日経リサーチ**

調査委託機関 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2-7
パークサイド1ビル

担当: **ビジネスデータ局 紙面データ部 石川、小山**

TEL 03-5296-5147 FAX 03-5296-5124

(お問い合わせ受付時間: 平日 10時~18時)

調査 No.061510030

貴社名		
所属部署・ご担当者名		
ご連絡先	TEL ()	FAX ()
	Email @	

見 本

Q1. 貴社には情報部門の責任者で経営会議にも出席する役割を持つ、いわゆるCIO(最高情報責任者)がいますか。 (1つに 印)

1. 専任者がいる	3. 特に担当はいない
2. 兼任者がいる	

「2. 兼任者がいる」と回答した方のみお伺いします。

SQ1. 貴社におけるCIOの形態は以下のうちどれに当たりますか。 (1つに 印)

1. 情報システム部門の長がCIOを兼ねている	3. CEO(最高経営責任者)がCIOを兼ねている
2. 他の業務担当役員がCIOを兼ねている	4. その他(具体的に:)

SQ2. 貴社ではCIOが直接報告をする相手はどの立場の方ですか。 (1つに 印)

1. 社長もしくはCEO	3. その他の役員
2. 経理担当役員(CFO)	(具体的に:)

Q2. 貴社のCIOの役割についてお伺いします。以下にあげる事項についてあてはまるものを選んでください。CIOが担当者いない場合(Q1「3. 特に担当はいない」)は、印をつけていただくなくても構いません。

(あてはまるものすべてに 印)

1. 経営会議など意思決定の場に出席している	3. 情報化戦略の立案・実行の責任者である
2. 経営会議に議案を提出する権限を持っている	4. その他(具体的に:)

Q3. 貴社のCIOあるいは情報システム部門は、システムの利用部門に対してどんな提案をしていますか。

(あてはまるものすべてに 印)

1. 新システムの構築による新事業	5. システムの利活用
2. システムの再構築による業務改革	6. 利用部門の要求を調整して社内での優先順位を決定する
3. システムの再構築や修整によるコスト削減	7. システムの利用部門に提案することはない
4. システムの再構築や修整による業務効率化	

Q4. 情報システム部門の要員の状況についてお伺いします。貴社の情報システムの構築・運用に関わる要員の数を記入してください。2006年3月末日時点または直近の決算日の実人員数を記入してください。複数の担当を持っている要員は、メインで従事している業務でのみカウントしてください。

		社内の雇用者数 (2006年3月末日)				外部の要員数 (2006年3月末日)			
利用部門	1. コンピュータ管理者数				人				人
情報システム部門	2. 運用担当者数				人				人
	3. 保守担当者数				人				人
	4. 開発担当者数				人				人
	5. ネットワーク管理者数				人				人
	6. システム企画・管理者数				人				人
	7. その他(パンチャ・オペレータ等)				人				人

Q5. 貴社(本体)の情報システム部門の要員総数は、ここ数年は増加傾向ですか。それとも縮小傾向ですか。 (1つに 印)

1. 増加傾向	3. 減少傾向
2. 横ばい	4. 本体には情報システム部門がない

Q6. 貴社では情報システム部門に、利用部門など他部門を経験させるような人事交流を実施していますか。 (1つに 印)

1. ほぼ全員に実施している	2. 一部で実施している	3. ほとんど実施していない
----------------	--------------	----------------

見 本

Q7. 貴社ではユーザー企業向け ITSSを導入するなど、システム部員のスキルを明確にしていますか。

(1つに 印)

1. 明確にしている	2. 明確にしていない
------------	-------------

Q8. 情報セキュリティについて、どのような対策を施していますか。

(各1つに 印)

	すでに対策を 実施している	トラブルを契機 に対策を講じた	現在 実施を検討中	必要性を 感じない
1. セキュリティポリシーの策定	1	2	3	4
2. セキュリティポリシーに基づいた具体的な対策	1	2	3	4
3. 全社的なセキュリティ管理者の配置	1	2	3	4
4. 部門ごとのセキュリティ管理者の配置	1	2	3	4
5. 従業員に対する情報セキュリティ教育	1	2	3	4
6. 重要なコンピュータ室への入退出管理	1	2	3	4
7. 重要なシステムへの内部でのアクセス管理	1	2	3	4
8. データの暗号化	1	2	3	4
9. ファイアウォールの配置	1	2	3	4
10. セキュリティ監視ソフトの導入	1	2	3	4
11. 外部専門家による常時セキュリティ監視	1	2	3	4
12. 外部専門家による定期的なシステム監査	1	2	3	4
13. 内部による定期的なシステム監査	1	2	3	4
14. 外部専門家による定期的な情報セキュリティ監査	1	2	3	4
15. 内部による定期的な情報セキュリティ監査	1	2	3	4

Q9. 貴社では過去1年間(2005年4月から2006年3月)に、Winnyなどによる情報漏洩のトラブルがありましたか。

(1つに 印)

1. 内部者による情報漏洩があった	3. 内部者、委託先の両方で情報漏洩があった
2. 委託先による情報漏洩があった	4. なかった

Q10. 貴社では過去1年間(2005年4月から2006年3月)に、個人情報保護法対応のために、新たにシステム面で対策を施しましたか。

(1つに 印)

1. すで実施した(1年以上前から実施済みも含む)	4. 現在、実施するかどうか検討している段階
2. 現在、実施中	5. 特に実施していない
3. 今後、実施する事が決まっている	6. もともと個人情報を保有していない

見 本

Q11. 貴社の情報処理関係支出額の実績、見込み金額のご記入をお願いします。2005年度実績とは期間は2005年4月1日から2006年3月末日までの1年間とします。ただし、決算日が2006年3月末日でない場合、直近の決算日の1年間で記入して下さい。百万円未満は四捨五入して下さい。

(単位:百万円)	2005 年度実績	2006 年度計画	2007 年度見込み
情報処理関係支出総額 (A + B + C + D)			
A ハードウェア関連支出総計			
買取額(有形固定資産計上+非計上分)			
レンタル/リース料(年)			
導入諸掛り、その他			
B ソフトウェア関連支出総計			
買取額(無形固定資産計上+非計上分)			
レンタル/リース料(年)			
情報システムの企画・設計コンサルタント料 (単独・分割発注の場合)			
ソフトウェア作成・システム開発料費用 (新規開発)			
システムの機能変更・拡張等の改善費用			
C 開発・運用・保守のアウトソーシング委託料			
D 通信関連支出			

「2005年度 情報処理関係支出総額」を回答された方のみお伺いします。

SQ. 支出総額について、「新システムの構築や既存システムの再構築」と「既存システムの運用や部分的な修整」に分けた場合、前者の比率は何%くらいでしたか。

新システムの構築や既存システムの再構築に係る支出				%
--------------------------	--	--	--	---

Q12. 貴社では、どのような手法でIT投資を評価していますか。以下の中からあてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに 印)

1. 情報システムのROI (投下資本利益率) 2. KPI (重要業績評価指数) 3. ユーザー満足度 4. ベンチマーク 5. バランス・スコアカード	6. 回収期間(Payback)法 7. DCF (Discounted Cash Flow)法 8. その他() 9. 特に評価していない
---	--

3.ユーザー満足度:システムの評価軸をあらかじめ、システム化の前後で同様の質問を利用部門に投げかけ、その回答を比較することで効果を測るもの

Q13. IT予算の審議・決定の場が、明文化されていますか。 (1つに 印)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q14. IT予算案には「効果」を数字で表記していますか。 (1つに 印)

1. はい	2. そうでないときもある	3. いいえ
-------	---------------	--------

見 本

Q15. 全社の新規投資予算のなか、IT新規投資予算枠があらかじめ用意されていますか。 (1つに 印)

- | | | |
|-------|---------------|--------|
| 1. はい | 2. そうでないときもある | 3. いいえ |
|-------|---------------|--------|

Q16. IT投資予算の優先順位を決める基準が明文化されていますか。 (1つに 印)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

Q17. 製品やサービスの調達についてお伺いします。貴社では発注先のベンダーの選定基準がありますか。 (1つに 印)

- | | | |
|----------|--------------------|------------|
| 1. 基準がある | 2. 一部のシステム(製品)にはある | 3. 特に基準はない |
|----------|--------------------|------------|

Q18. 貴社ではベンダーの技術力をどのように評価していますか。以下の中からあてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに 印)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 情報システム部門が評価している | 3. 特に評価していない |
| 2. 外部の専門家に委託している | |

Q19. 貴社はPMO(プロジェクト・マネジメント・オフィス)の有無をベンダーの選定の基準に加えていますか。 (1つに 印)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

Q20. アウトソーシングの取り組みについてお伺いします。貴社では、現在ITアウトソーシングを利用していますか。 (1つに 印)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 利用している | 4. 以前、利用していたが、現在は利用していない |
| 2. 今後、利用する事が決まっている | 5. 利用していない |
| 3. 現在、利用するかどうか検討している段階 | |

「1. 利用している」と回答した方のみお伺いします。

SQ1. 利用している分野は何ですか。以下の中からあてはまるものを選んでください。 (あてはまるものすべてに 印)

- | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|
| 1. システム企画 | 2. 開発 | 3. 保守 | 4. 運用 |
|-----------|-------|-------|-------|

SQ2. アウトソーシングを利用する最も主たる目的は何ですか。 (1つに 印)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. コスト削減 | 3. 要員の配置転換 |
| 2. 品質向上 | 4. その他(具体的に:) |

Q21. システム企画や要件定義などの実施手順を定めていますか。 (1つに 印)

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------|
| 1. すべてのシステムで定めている | 2. 一部のシステムで定めている | 3. 定めていない |
|-------------------|------------------|-----------|

Q22. システム化要件の優先順位付けの基準がありますか。 (1つに 印)

- | | | |
|-------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. あるが形骸化している | 3. ない |
|-------|---------------|-------|

Q23. 要件定義や設計フェーズでは、利用部門が作業に参加していますか。 (1つに 印)

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. いつも参加している | 2. 参加する場合もある | 3. 参加しない |
|--------------|--------------|----------|

Q24. RFP(提案依頼書)を作成していますか。 (1つに 印)

- | | | |
|-----------|---------------|------------|
| 1. 作成している | 2. 作成しないときもある | 3. 作成していない |
|-----------|---------------|------------|

Q25. コストの見積りや、ベンダーの提示価格の妥当性を検定できますか。 (1つに 印)

- | | | |
|--------|------------------|--------------|
| 1. できる | 2. できるがやらないときがある | 3. できる人材がいない |
|--------|------------------|--------------|

見 本

Q26. ITリスクマネジメント(情報漏洩などITに関連するリスクの把握や対策の検討)について、何らかの具体的な行動を起こしていますか、
(1つに 印)

- | |
|--|
| 1. 常に管理している
2. 過去に行動を起こしたことがあるが今は何もしていない
3. 行動を起こしたことがない |
|--|

Q27. システム開発の契約締結前に、情報システム部門以外が契約内容を確認することがありますか、
以下の中からあてはまるものを選んでください。2を選ぶ場合にはカッコ内に金額もご記入ください、
(1つに 印)

- | |
|---|
| 1. すべての案件について確認している
2. 一定金額(_____億円)以上など条件により確認している
3. 特に確認はしていない |
|---|

SQ. 「1. すべての案件について確認を行っている」「2. 一定金額以上など条件により確認している」と回答した方
にのみお伺いします。確認をしているのは誰ですか、
(あてはまるものすべてに 印)

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 法務部門が確認している
2. 弁護士が確認している(社内外を含む) | 3. 弁護士以外の外部の専門家が確認している |
|---|------------------------|

Q28. 貴社の業務領域ごとにおける情報システムへの主な取り組みに関して、2000～2005年度の状況と2006年度以降の予定に
ついて、それぞれ該当するもの1つに選んでください、
(年度ごと各1つに 印)

	2000～2005年度の取組状況				2006年度以降の取組予定			
	システムの全面再構築を済ませた	システムの全面再構築を進めた	準備をした システムの全面再構築に向けた アプリケーションの棚卸しなど	部分的なシステム修整はしている が、全面再構築は実施していない	システムの全面再構築を済ませる	システムの全面再構築を進める	準備をする システムの全面再構築に向けた アプリケーションの棚卸しなど	部分的なシステム修整はしている が、全面再構築は予定していない
1. 財務会計	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 製品・サービスの開発・設計	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 調達	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 生産・サービス提供	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 物流	1	2	3	4	5	6	7	8
6. 販売	1	2	3	4	5	6	7	8
7. カスタマーサポート	1	2	3	4	5	6	7	8

Q29. 社内で使っているハードやOS、ミドルウェアなどをすべて把握していますか、
(1つに 印)

- | |
|---|
| 1. 全社の最新情報を一元管理している
2. 一元管理しているが、一部には管理しきれていないシステムがある
3. ほとんど把握できない |
|---|

Q30. システムを修整した際に、修整していない機能が従来どおり正しく動作するかを確認する「復帰テスト」を実施していますか、
(1つに 印)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 自社のシステム部門が常に実施している
2. 実施しないときがある | 3. 外注先に任せている
4. 実施しない |
|--|--------------------------|

見本

Q31. システムの運用・監視体制全般についてお伺いします。
 以下の内容について、ML(サービスマネジメントにおけるベストプラクティス)などに基づき日々の運用手順を定めていますか。
 (各1つに 印)

	すべて文書で 定めている	一部は文書で定めて いない	特に明確に なっていない
1. サービスデスク	1	2	3
2. インシデント管理	1	2	3
3. 問題管理	1	2	3
4. 構成管理	1	2	3
5. 変更管理	1	2	3
6. リリース管理	1	2	3

Q32. 以下の内容について、MLなどに基づき中長期的なサービス改善策を定めていますか。
 (各1つに 印)

	すべて文書で 定めている	一部は文書で定 めていないが改善 策はある	特に明文化してい ないが 改善策はある	改善策は定めて いない
1. サービスレベル管理	1	2	3	4
2. ITサービス財務管理	1	2	3	4
3. キャパシティ管理	1	2	3	4
4. ITサービス継続性管理	1	2	3	4
5. 可用性管理	1	2	3	4

Q33. 運用手順を守らせるために、どのような施策を実施していますか。
 (あてはまるものすべてに 印)

1. パスワードで運用操作の権限を分けている
2. ワークフローシステムなどにより、責任者による承認がなければ作業が進まないような仕組みを盛り込んでいる
3. 運用現場の責任者に任せている
4. 運用オペレーター、一人ひとりの判断に任せている

Q34. BCP(ビジネス継続計画)について伺います。以下にあげる計画・体制がありますか。
 (各1つに 印)

	ある	ない
1. メインのデータセンターが災害などの被害にあった際に、事業を継続するためのバックアップ・センター	1	2
2. 災害などによるシステムの被害の大きさに応じた、システムの復旧計画	1	2
3. 災害や大規模なシステム障害など緊急時の連絡網	1	2

Q35. メインのデータセンター(委託している場合も含む)が完全に停止した際、貴社の事業活動はどうなりますか。(1つに 印)

1. バックアップ用のデータセンターを使って、通常業務を続けられるようにしてある
2. バックアップ用のデータセンターを使って、主要業務だけを続けられるようにしてある
3. システムは動かないが、手作業で業務を継続できるようにしてある
4. 事業活動は停止する

見 本

Q36. プロジェクト管理体制についてお伺いします。

以下の項目について、PMBOK(プロジェクト・マネジメントの国際的な知識体系)などにに基づき定めた規定集のようなものがありますか。

(各1つに 印)

	あ る	な い
1. システム開発プロジェクトの実施手順	1	2
2. プロジェクトで利用する「システム開発標準」	1	2
3. プロジェクトで作成する成果物	1	2
4. 仕様変更の管理方法	1	2
5. 成果物の管理方法	1	2
6. 開発作業の進捗の管理方法	1	2

Q37. 以下の中で、システム開発プロジェクトの際に、必ず作成するものは何ですか。以下の中からあてはまるものを選んでください。

(あてはまるものすべてに 印)

1. 要件定義書	4. テスト計画書
2. 設計仕様書	5. テスト結果報告書
3. ソースコード	

Q38. プログラムや仕様書、運用手順などの品質をチェックする品質管理担当者がいますか。

(1つに 印)

1. <u>専任者がいる</u>	2. <u>兼任者がいる</u>	3. いない
------------------	------------------	--------

SQ. 「1. 専任者がいる」「2. 兼任者がいる」と回答した方にのみお伺いします。

担当者はどのように開発や運用に携わっていますか。

(1つに 印)

1. レビューの手順が定まっており常にそれに準拠している
2. レビューの手順は定まっていないが常にレビューは実施している
3. レビューの手順は定まっているがたまにはそれに準拠しないことがある
4. レビューの手順は定まっておらずレビューを実施しないこともある

Q39. 検収前に、自社で受け入れテストを実施していますか。

(1つに 印)

1. 必ずしている
2. 実施しているが、一部のテストは検収後になることがある
3. 実施していない

Q40. 利用部門がテストに携わっていますか。

(1つに 印)

1. テスト計画の策定やテストの実施、結果管理などほぼ全般的に利用部門が参画している
2. テストの実施だけは利用部門が携わっている
3. 携わっていない

Q41. システム切り替え時のコンティンジェンシープラン(危機管理計画)がありますか。

(1つに 印)

1. <u>ある</u>	2. ない
--------------	-------

SQ. 「1. ある」と回答した方にのみお伺いします。

システム切り替えの度に作成していますか。

(1つに 印)

1. 作成している	2. 毎回作成し直すわけではない
-----------	------------------

見本

Q42. 情報システムを使う「利用部門」におけるシステムへの不満・改善要求などを吸い上げる仕組みがありますか。

(1つに 印)

1. ある

2. ない

「1. ある」と回答した方にのみお伺いします。

SQ1. 仕組みを使って定期的に現場の声を吸い上げていますか。

(1つに 印)

1. 定期的に吸い上げている

2. 非定期で吸い上げている

3. 仕組みはあるが実施していない

SQ2. 過去1年間(2005年4月から2006年3月)に寄せられた改善要求の件数と、そのうち実際にシステム化による対策を講じた件数をご記入ください。

改善要求の件数				件
うち対策を講じた件数				件

SQ3. 新法開発や修整した後、使い勝手など利用部門から意見を聞いていますか。

(1つに 印)

1. 定期的に吸い上げている

2. 非定期で吸い上げている

3. 仕組みはあるが実施していない

Q43. 利用部門の操作方法に関する疑問に答える「ヘルプデスク」(アウトソーシングを含む)がありますか。

(1つに 印)

1. ある

2. ない

「1. ある」と回答した方にのみお伺いします。

SQ1. 活動範囲は以下のうちどれにあてはまりますか。

(1つに 印)

1. 電話やメールでの問い合わせ対応に加え、必要があれば担当者が直接全国の拠点に出向く

2. 電話やメールでの問い合わせ対応に加え、必要があれば担当者が本社などの主要拠点に出向く

3. 電話やメールでの問い合わせ対応のみ

SQ2. 過去1年間(2005年4月から2006年3月)に持ちかけられた相談の件数と、そのうち解決に至った件数をご記入ください。

1年間の相談件数				件
うち解決した件数				件

Q44. システム部門は、システムの操作説明書を作成したり、利用部門に操作研修を提供したりしていますか。

(1つに 印)

1. 常に行っている

2. たまにはしないときもある

3. していない

Q45. システム部門は、システム構築の目的や狙いなどについて、稼働時に利用部門に説明をしていますか。

(1つに 印)

1. 直接口頭で説明している

2. メールや文書などで説明している

3. 説明していない

見本

Q46. 稼働中の収益管理システムは、最短どの範囲で管理できますか。

グループ企業が無い場合は「5」を選択の上、単体のみでご回答ください。

(各1つに 印)

	日次	週次	月次	四半期	もともと グループ 企業がない
1. 国内のグループ企業も含めた収益管理	1	2	3	4	5
2. 海外のグループ企業も含めた収益管理	1	2	3	4	5

Q47. 貴社の単独決算の場合、会計年度末から何日後に決算発表に必要な売上高などのデータが揃いますか。

会計年度末から		日後
---------	--	----

Q48. 貴社は部品・材料・商品のSCM(サプライチェーン・マネジメント)システムを構築していますか。

(1つに 印)

1. している	3. 業種的にあてはまらない
2. していない	

「1. している」と回答した方のみお伺いします。

SQ1. システムの接続の範囲はどこまで広げていますか。

(各1つに 印)

	すべて接続 している	一部で接続 している	接続 していない	もともと 拠点・相手先 がない
1. 国内生産拠点	1	2	3	4
2. 国内販売拠点	1	2	3	4
3. 国内仕入れ先	1	2	3	4
4. 国内納入先	1	2	3	4
5. 海外生産拠点	1	2	3	4
6. 海外販売拠点	1	2	3	4
7. 海外仕入れ先	1	2	3	4
8. 海外納入先	1	2	3	4

SQ2. 客先から発注依頼があった場合、納期回答にはどのくらいの日数が掛かりますか。

(各1つに 印)

	即日回答 可能	3日以内	1週間以内	8日間以上
1. 国内販売拠点	1	2	3	4
2. 海外販売拠点	1	2	3	4

Q49. 情報システムによって、ペーパーレス化できたものをお答えください。

(あてはまるものすべてに 印)

1. 従業員の給与明細	4. 会議時の配布資料
2. 経費・交通費などの精算	5. 月次・週次などで販売・在庫数などを集計した定型帳票
3. 各種伝票	6. その他()

見 本

Q50. 最近ヒットした商品・サービスで、新しく構築した情報システムが寄与したものがあれば、その商品名と情報システムにおける工夫を具体的にご記入ください。(自由記入)

商品・サービス名
工夫した内容

Q51. EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)のような中長期的なITの更新ロードマップを定めていますか。(1つに 印)

1. 定めている	2. 特には定めていない
----------	--------------

「1. 定めている」と回答した方にのみお伺いします。

SQ. EAで明らかにしている内容を以下の中から選んでください。

A. 既存システムの現状 (あてはまるものすべてに 印)

1. ハード	2. ソフト構成	3. アプリケーション構造	4. 問題点
--------	----------	---------------	--------

B. システムの将来像 (あてはまるものすべてに 印)

1. ハード	2. ソフト構成	3. アプリケーション構造	4. 更新時期
--------	----------	---------------	---------

C. 自社で導入する際の推奨(標準)製品(ハード、ソフト、パッケージソフトなど) (1つに 印)

1. すべてのシステムで明らかにしている	3. 触れていない
2. 一部のシステムで明らかにしている	

Q52. 貴社が所有または利用する情報システムの総開発ステップ数と運用ジョブ数はどのくらいですか。

総開発ステップ数										万ステップ
運用ジョブ数										件

Q53. 貴社では過去1年間(2005年4月から2006年3月)にメインフレームを撤廃しましたか。(1つに 印)

1. 撤廃した(2005年4月までに撤廃済みも含む)	4. 撤廃するかどうか検討している段階だった
2. 2006年3月時点では撤廃中だった	5. 撤廃の必要性を感じない
3. 撤廃する事を決めた	

Q54. オフショア開発についてお伺いします。

貴社ではこれまでに、中国やインドなどのITベンダーにシステム開発を、直接発注したことがありますか。(1つに 印)

1. 委託している(したことがある)	2. 今後、委託する計画がある	3. 委託していない
--------------------	-----------------	------------

SQ. 「1. 委託している(したことがある)」と回答した方にのみお伺いします。

委託した結果はどうか。複数のケース、結果がある場合は総合的な意見でご回答ください。

(あてはまるものすべてに 印)

1. コストを削減できた	4. コストが高くなった
2. 品質が良かった	5. 品質が悪くなった
3. コミュニケーションを補う仕組みをつくった	6. コミュニケーションに課題がある

見 本

Q55. 日本版SOX法対策についてお伺いします。貴社では過去1年間(2005年4月から2006年3月)に、日本版SOX法対策のシステム開発を行いましたか。 (1つに 印)

1. <u>すでに実施した(1年以上前から実施済みも含む)</u>	4. 現在 実施するかどうか検討している段階
2. 現在 実施中	5. まったく必要性を感じない
3. 今後 実施することが決まっている	

SQ. 「1. すでに実施した」「2. 現在 実施中」「3. 今後 実施する事が決まっている」と回答した方にお伺いします。
システム開発にいつ頃着手しましたか(する予定ですか)。

着手した(予定)時期	2	0			年			月
------------	---	---	--	--	---	--	--	---

Q56. SOA(Service Oriented Architecture)についてお伺いします。貴社はSOAに関心がありますか。 (1つに 印)

1. 関心がある	2. 関心がない	3. 知らない・わからない
----------	----------	---------------

Q57. 貴社では過去1年間(2005年4月から2006年3月)に、SOA対応と呼べるシステム化を実施しましたか。 (1つに 印)

1. <u>すでに実施した(1年以上前から実施済みも含む)</u>	4. 現在 実施するかどうか検討している段階
2. 現在 実施中	5. まったく必要性を感じない
3. 今後 実施する事が決まっている	

「1. すでに実施した」と回答した方にお伺いします。

SQ. 実施した結果、効果はありましたか。 (1つに 印)

1. <u>効果があった</u>	2. まだ効果はない	3. わからない
------------------	------------	----------

SSQ. 「1. 効果があった」と回答した方にお伺いします。

具体的にどのような効果がありましたか。 (あてはまるものすべてに 印)

1. 業務の変化にともなうシステム変更のスピードが上がった	3. トラブルが減った
2. システム変更のコストが下がった	4. その他()

Q58. IT担当者の立場から、ITの活用が進んでいると思う企業を3社まであげてください(自社を除く)。対象は外資系を含む日本企業です。

	企業名をご記入ください	(何も記入しないでください)
1 位		
2 位		
3 位		

質問は以上で終了です。お忙しいところ長時間ありがとうございました。